

GRAND MARBLE ENTA!

グランマールは、おいしさと感動を伝えるひとつの形として、エンタテインメントを応援しています。
音楽、映画、ラジオ番組、そしてアート…etc.。伝統と創造の街・京都から、フレッシュな才能を発信していきます。

Art 女性アーティストが問いかける「日常の向こうがわ」 山本聖子・アトリエインタビュー



Profile 1981年生まれ。大阪府出身。京都造形芸術大学大学院卒。若手アーティストの登竜門[VOCA]展に2011年選出。
[六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2011]公募大賞 グランプリ、[東京ミッドタウン・アワード 2011]アートコンペ グランプリ。



手前が、間取り図を切り抜いて立体に構成した作品。住宅広告チラシをラミネート加工し、間取り図の部分をカッターで切り抜いている。



見ているとイマジネーションがふくらむドロ잉。

マンションが建ち並び、高架をモノレールが走る。女性アーティスト・山本聖子さんは、万博公園に隣接するこのアトリエの近く、千里ニュータウンで育った。ニュータウンの生活は近代的で便利だけど、人間の匂いか薄い。
「生まれ育った環境を振り返ったとき、生活感というものが消されているように感じられたんです」。
集合住宅は、どれも四角く素っ気ない外観で、密集しているにもかかわらず、中の生活を伺うことはできない。山本さんの家に届けられる不動産広告チラシには、そうした集合住宅の、どれも同じような間取り図が並んでいる。
山本さんは、わずか数cmのその間取り図たちを、一枚一枚たんねんにカッターで切り取り、数千枚を組み合わせて立体作品を作り上げた。作品は遠目には、直線がひしめく無機的なムードだが、目を凝らすとその直線は、人間の生活を包む住居空間の図だと気づかされる。そこには山本さんが画一的な街の中で感じてきた「生活感が消されている感じ」が表現されている。この「間取り図」の作品は、大きな注目を集めた。「もともと立体だった部屋の空間を二次元に落とし込んだのが間取り図だから、それをもう一度立体作品にすることには…2.5次元といえるかもしれません。思えばいつも、2次元と3次元の間をさまようような作品をつくってきたかも」。
2012年、秋は2年ぶりになる個展を Gallery PARC で開催。「ここ数年、空間を使って模索してきたことの集大成になれば」。



壁にあったのは作品構想のアイデアスケッチ。

Gallery PARC GRAND MARBLE

2012年上半年期までに開催された展覧会&イベント



「かわいて、またぬれる・金サジ 個展」(2012年4月3日～4月15日)写真家・金サジによる個展。PARCの大きな壁面を活かしたインスタレーション。



「せまく広く、もっと大きくもっと小さく：平田さち展」(2012年5月3日～5月20日)「フリーライブ Nächste Station (ネキステステーション)」：中野公揮・橋本翔太」(2012年5月3日～6日)撮影：草木貴照

Gallery PARCでは、会場レンタル(学生割引有り)による学生や若いクリエイターへの発表場所の提供や広報活動の支援をはじめ、アート・工芸・デザイン・写真・映像・パフォーマンスなどの展覧会やワークショップの開催を通じ、京都の文化の継承と創造に向け、様々な支援に取り組んでまいります。

2012年後半のスケジュール

- 7/3～7/15 足高寛美個展(立体・テキスタイル)
毛髪をレースのように編みあげた作品を中心に構成した個展。
- 7/17～7/29 成安造形大学主催：明界要介個展(インスタレーション)
- 7/31～8/12 藤永覚耶個展(ペインティング)
布地に点描で描かれた森や植物のイメージを溶かし、作品に揺らぎを取り入れる。
- 8/14～8/19 版画11人展[版] (版画)
京都嵯峨芸術大学版画分野3回生11名によるグループ展
- 8/21～9/2「脈展-2」[版]
昨年に引き続き2回目となる、京都造形大学大学院生有志によるグループ展。
- 9/4～9/16 中屋敷智生個展(ペインティング)
- 9/22～10/7 KYOTO EXPERIMENT 2012 関連企画展
過去2年にわたって開催してきた、京都国際舞台芸術祭の関連企画展。
- 10/9～10/21「よむこと・紙出来」
藤本由起夫、今井祝雄、石川亮、北野裕之、長尾浩幸ほか、京都の各芸術系大学で指導する作家による展覧会。
- 10/23～10/29 フジフシキノ：モスリン展(染織)
フジフシキノによるモスリンの衣服展。染めから縫製まで、すべて手仕事で仕上げられた色鮮やかなモスリンの服を展示・販売。

- 11/3～11/18 国谷隆志(立体・インスタレーション)
昨年に続き2回目となる国谷隆志の個展。ネオン管による作品を中心に、実験的な要素を取り入れた作品を展開。
- 11/24～12/9 山本聖子(立体・インスタレーション)
★上のインタビュー記事参照
- 12/11～12/23 金光男(版画)
※展覧会のタイトルはいずれも仮です。また、内容・日時などは予告なく変更場合がございます。



DATA 京都市中京区弁慶町48(三条通御幸町西北角)三条ありもとビル
「ル・グランマール カフェ クラッセ」2F
Tel・Fax. 075-231-0706 11:00～19:00 月曜休
http://www.galleryparc.com/

Radio グランマールが提供する番組「clip your heart」 「Blooming heart」DJスペシャルインタビュー



山添まり Profile
東京都出身。最近のお気に入りアルバムはジェイソン・ムラースの「LOVE IS A FOUR LETTER WORD」。好きなデニッシュはりんごくるみのプリンデニッシュ。
インタビュー場所の「ブーランジェリーカフェ シャンブル ド グランマール」は、「スタジオにも近いし、とても気持ちがいい空間なので、昼下がり、こっそりシャンパンを楽しんだりしてるんです」。(データはp13)

clip your heart
FM802 FM802(80.2MHz)
meet the music on the radio ●毎週金曜日 11:00～11:20 山添まり
「音楽との出会い＝感動」をテーマにお届け。人生を変えたライブや、思わず涙を流したコンサートについてリスナーから募集し、いただいたメッセージを紹介します。

「ライブの感動はひとつ。それを体で感じてほしい」。—— 山添まり

オンエアの時間帯が午前中になった「clip your heart」。「11時台ですから、お家でもオフィスでも、ちょっと一息…という時間帯。週末を控えた金曜日。あとひと息のがんばりを応援するような、元気の出る曲をお届けしています」。
番組のテーマは音楽との出会い、ライブの感動。
「ライブについてコメントをお聞きますと、アーティストさんからと、リスナーさんからとでは、演奏する側と聴く側との、視点の違いが面白いですよ。でも、もっと面白いのはライブで本当に感動した時のコメントはまったく同じだということ。とにかく『よかった!』なんです(笑)。音楽を聴くためのツールも進化していますが、ライブは人間のパワーが渦巻いている場。とにかくそれを体感してほしいです」。

「リスナーからのメッセージには、感動の連続です」。—— MEME

聞いただけでリラックスモードになれるトークで人気の DJ、MEMEさん。「震災をきっかけに、ラジオの向こうのリスナーに寄り添うように話すようになりました。音楽も、歌詞の中身もよく考えます。でも、リスナーの皆さんに元気になってもらうために一番大切なことは、まず私たちが元気でいること」。
番組では、リスナーからの「生活に花を添えてくれた」エピソードを紹介している。「思わずグッと来るメッセージ、ありますよ。ご家族、ご夫婦の絆を感じさせるお話やメッセージが多いです。『妻に“ありがとう”を言いたいんだけど…言えなくて』というような微笑ましいメッセージは、『今度は直接伝えてあげてくださいね』とエールを送りながら(笑)ご紹介しました」。
リスナーとの真心のキャッチボールを番組でお楽しみください。



MEME Profile
兵庫県出身。ヨガ、スキー、音楽と多趣味で多彩なパーソナリティー。注目のアーティストはマイケル・キヌムカ。好きなデニッシュはプレステージ。

Blooming heart

FM COCOLO (76.5MHz)
●毎週月曜日～木曜日 15:00～15:10 MEME
コンセプトは“真心をかたち”。本から映画まで曜日ごとのテーマトーク。木曜日はリスナーからの「生活に花を添えてくれた」メッセージをご紹介しています。

Cross Column

Sweet'n marble lovers パーソナリティー2人が語る「かわいい京都×伝統」 Vol.2「ぼち袋」



MAKOTO (左) Profile
祇園町の芸妓・真琴とミュージシャン、和洋、伝統と現代の世界で活躍するアーティスト。アルバムに「Makoto Sings Jazz」。好きなデニッシュは祇園辻利濃茶。
公式ブログ 京女のつれづれ草
http://www.cafeblo.com/kyoto/
前田典子 (右) Profile
19歳からモデルを始め、テレビ、ラジオのパーソナリティー、ファッションプロデューサーもこなすマルチタレント。好きなデニッシュは Doji フロマージュ。
公式ブログ マエ★ノリヌーヴェル
http://ameblo.jp/maenori/#

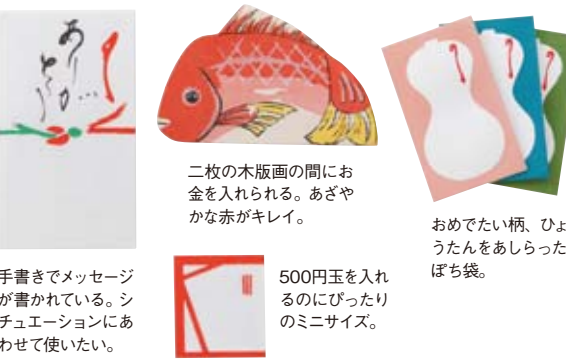
Sweet'n marble lovers

α-STATION FM KYOTO 80.4 (89.4MHz)
●毎週木曜日 21:00～22:00 前田典子・MAKOTO

MAKOTO 京都では、ご祝儀を手渡す時、金封を使うんですよ。
前田 色々な種類があるんですか？
MAKOTO TPOで選びます。ぼち袋は子供さんへのお年玉はもちろんですけど、ちょっとしたお心付けを包む時に使います。きちんとしたお礼や楽屋お見舞いなどには「祝儀袋」を使いますが、たとえば踊りの舞台のスタッフの方に「これでコーヒーでも召し上がってください」という気持ちで、ぼち袋に「お珈琲」と書いてお心付けをお渡ししたり、ということもあります。
前田 それって奥ゆかしい…。私にとっては、ぼち袋はお年玉のイメージかな。母はいつも素敵なおぼち袋を用意していました。
MAKOTO ぼち袋自体に凝られる方も、おられますね。以前、お名前が入ったぼち袋を頂戴したことがあります。
前田 それって「おあつらえ」のぼち袋なんですね。これ(手に持っているぼち袋)も手作りですよ。
MAKOTO こういふかわいいぼち袋をいただく、捨てずに取っておくかな、と思いますよね。
前田 着物のたとう紙のようなデザインのぼち袋をいただいた時は、素敵で、とっておきましたね。
MAKOTO 思い出のぼち袋ってあります？
前田 うーん、スヌーピーのぼち袋(笑)。好きだったから。小さい頃は、かわいいぼち袋に5円玉が入ってるだけでうれしかったですね…。今は、もうより、あげてばかりですけど。

What's ぼち袋?

ぼち袋の「ぼち」とは、関西の方言で、花街での小額の心付けを意味したもの。大正時代には旦那衆の粋な小道具として、和紙に木版画で刷られたモダンなおぼち袋がつくられていたことも。



手書きでメッセージが書かれている。シチュエーションにあわせて使いたい。
一枚の木版画の間にお金を入れる。あざやかな赤がキレイ。
500円玉を入れるのにぴったりのミニサイズ。
おめでたい柄、ひょうたんをあしらったぼち袋。

嵩山堂はし本

上質の和紙を用いた雅で愛らしいオリジナル紙製品には、ぼち袋の他、はぎや文乃香など。季節の便りをどうぞ。
京都市中京区六角通祇園町東入八百屋町110 10:00～18:00 無休
http://suuzando.co.jp/